

NO 1170 行田・足袋、蔵の町スケッチハイク

期日 2015. 11. 28(土)

参加 9名

天候 快晴

Mリーダー初デビューの
行田スケッチハイクは、快
晴にめぐまれた好スタート。

スケッチをしなくてもよい、というお気
楽参加の面々、気分は早くも？な、ゼリー
フライへ飛ぶ。

まずは、映画「のぼうの城」で有名な
忍城へ。水城公園から黄葉の銀杏並木を
あるき、復元された天守閣がお堀の水に
映って美しいが、いざ、絵にするとなると
自分は、数分でギブアップ！



行田駅前でご挨拶



スケッチブックを広げてすぐに描きはじめる4人
以外は、城址公園のお散歩やら天守閣に登って

歴史の勉強やらで、それなりに充実の時間を過ごし、お昼となる。待ってました、とさっそく行田
のB級グルメ‘フライ’‘ゼリーフライ’なるものを食しにお店に走る。



これがフライ。お好み焼きの揚げ物？
意外とおいしい。



満足の笑顔。お弁当持参のグループと合流して、これから蔵めぐりだ。



まずは、恒例のパチリ。ここで旗はちょっと恥かしかったが。



行田の蔵は、足袋蔵といって、製造した足袋を保管したり、材料を保管したりするものなので、皆家の後ろに建てられていて、道路に面していないのだという。

白壁が美しく、川越のような人混みもなく静かな歩きが楽しめる。この藍染め工房もめったに開いていないので、ラッキーとリーダーが。さっそくお買い物ができるなんて、よい山行？ハイキング？だ。



近代化遺産として、国登録有形文化財にも指定されている蔵もあり、履く人の足に合わせて型を採り、仕立ててくれる職人さんもいるという。ただ、お歳が80歳代のかたがお二人のみ、なので、注文から仕上がりが時間がかかるという。

小さな路地路地に、素敵な蔵があり、絵が書けたらな～、というロケーションが続き、えっ、ここパン屋さん？おしゃれ～。

改装中の3階建ての蔵は設計事務所。

ここなら時間がある時にふらっと一人でもこられる。リーダーのセンスの良さを愉しませて貰った1日だった。

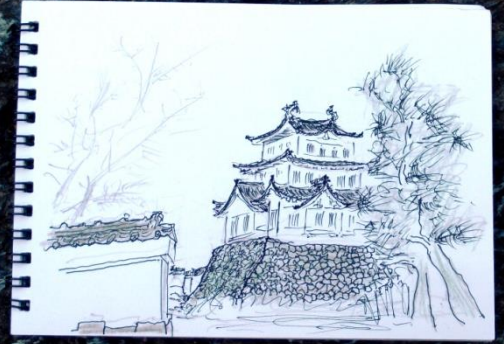
(T記)



A氏



Kさん



M氏



わたし描く人



わたし喋る人

THE end.